

EARTH CUBE

世界のゴミ問題を解決します。

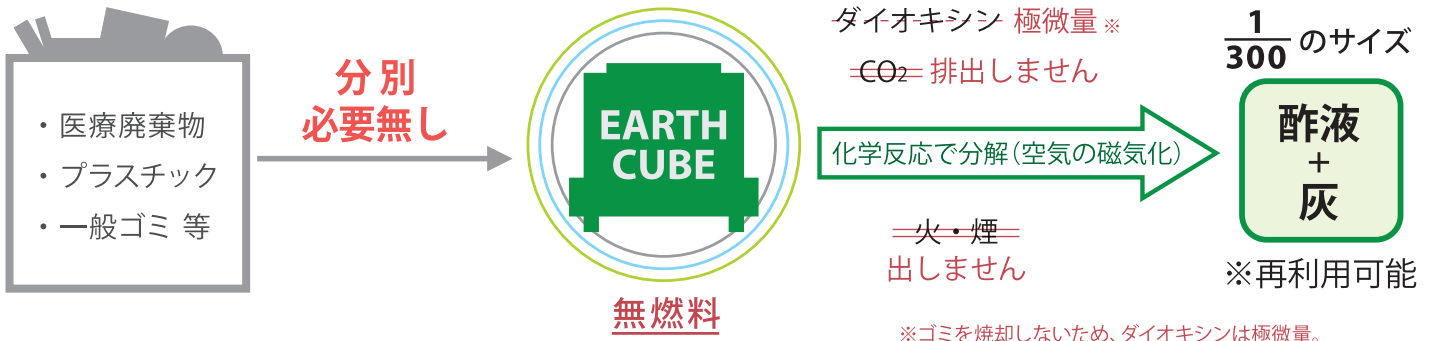


『磁流式低温分解装置』特許取得

◆ 環境汚染ゴミを安全にエコ処理

アースキューブ 有機物処理の低温熱分解装置

『EARTH CUBE』は従来の焼却炉のゴミ処理機とは全く異なったシステム(磁性体流低温熱分解)の有機物処理機です。本機は、処理の最終段階に生成されるセラミック灰の製造機として開発されました。焼却炉でない為、有機物の処理に化石燃料等は一切かかりません。またダイオキシン等の排出もきわめて抑制され、地球環境の保護にも大きく貢献します。処理物としては、鉄・陶器・貝殻・ガラス・銀紙・ガラス繊維等以外の有機物はほとんど処理いたします。



化石燃料が「ゼロ円」	電気代、水道代合わせて 毎月約 3万円弱	騒音・振動は極微小	車約 1.5 台分の設置スペース
炎が出ないので安全	最終灰は、年間重量の $\frac{1}{300}$	悪臭検査に合格	タイヤの分解でも黒煙無し
ダイオキシンは微量	地下・屋上でも設置が可能	管理時間 1日 2時間	最終灰は肥料や耐久補強に
モーター・電気類無し	炉内は磁力のカバーでサビずらい	アジアゴールドensterアワード2019商品賞受賞	

◆ 設置場所に制限無しの利点

有機物磁気熱分解の中には排気ガス系を再燃焼させるものや高温処理をしているものがあり、自治体から焼却炉として判断される可能性が高く、これにより様々な法律の網で設置基準が厳格化されています。

しかしアースキューブは低温で処理ができる装置なので消防庁の規定する「焼却炉」に該当しないとの承認を得られおり(鉄製のゴミ箱として分類される)設置場所などの制限はありません。

またアースキューブの本体にはモーター類を使用していない為、定期的なメンテナンスをすれば半永久的に壊れないことや、経済的なランニングコストに加え1日の管理はわずか2時間程度(ごみの投入、日常点検)であること。さらに、離島や山間部などのインフラ未整備の場所でも使用が出来ること等から、今までのゴミ処理機と比べ様々な利点があげられます。





処理が出来るもの

1. 医療用廃棄物
(特別管理廃棄物「感染性一般廃棄物」と「感染性産業廃棄物」等)
2. 石油製品
(プラスチック・発砲スチロール・ポリ袋・トレイ等)
3. 石油化学製品(タイヤ等)
4. 生ごみ(食品残渣等)
5. 紙類(雑誌・カタログ・電話帳等)
6. 樹木類(庭木・枝・おがくず・解体木材等)
7. 水産・漁業廃棄物
(カキやホタテなどの2枚貝・魚のアラ・魚網・浮等)
8. 農産廃棄物(糞・農薬・肥料・飼料等)
9. 布製品(衣類・ぬいぐるみ等)

処理が出来ないもの

1. 金属類
2. ガラス製品
3. 石材・石膏ボード・アスベスト
4. コンクリート
5. 電池類
6. 揮発性・爆発性のもの
7. 社会通念上処理してはいけないもの

■ 処理後の再生利用

1. 排出液(酢液)
弱酸性の木酢と同様の液が生成されます。
500~1000倍に薄め無農薬の害虫駆除剤として再利用が可能です。
2. セラミック灰
有機物が最終的にはセラミック灰となり、畑の肥料やコンクリートの補強材、アスファルトに混入するなど再利用が可能です。



◆ 焼却炉とアースキューブの比較

アースキューブは焼却炉のゴミ処理機と比較しても負担が少なく経済的な点が大きな特長です。

	焼却炉	アースキューブ(熱分解装置)
都道府県申請	初回 140,000 円	協議のみ
光熱費	40,000 円/月	30,000 円/月 ※1
設置面積	坪単位で必要	駐車場 1.5 個分
毎年の検査	年 1 回検査報告・立入検査	不要 (県によりダイオキシン必要)
熱燃料	40 万/月	なし
燃焼率	1 / 50	1 / 200 ~ 1 / 300
最終灰処理	埋立地までの運搬	畑の肥料として再利用可能
1 日の作業時間	時間毎の見回り	1 日の作業約 2 時間
ダイオキシン	嚴重な装備が必要	極微小
年間経費合計	480 万円+ 初回 14 万円	300,000 円(ダイオキシン) ※2

※1 都道府県によって光熱費に差がある場合があります。

※2 都道府県から要請があった場合、設置時のみダイオキシン検査が必要です。

◆ アースキューブ導入事例・導入予定

1. 大手空港サービス会社(試験導入で1台)
 2. 埼玉県 建築産廃業者
 3. 千葉県 食品加工会社
 4. 栃木県 外食大手の製造部門
 5. 兵庫県 製薬会社
 6. 福岡県 総合病院
 7. 青森県 産廃業者
- その他22施設

《海外》

中国 電子基板製造会社
中国 医療産廃業者
フィリピン 販売代理店

お気軽にお問い合わせ下さい。

地球環境のために私たちが出来ること

